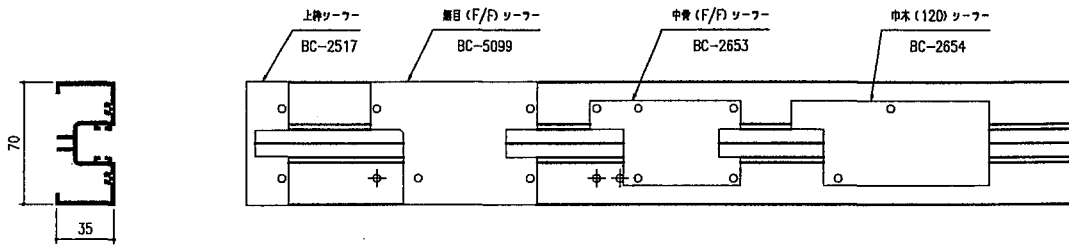
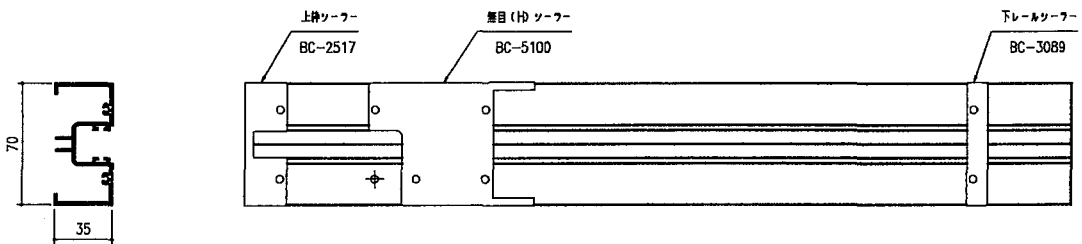


部品取付図

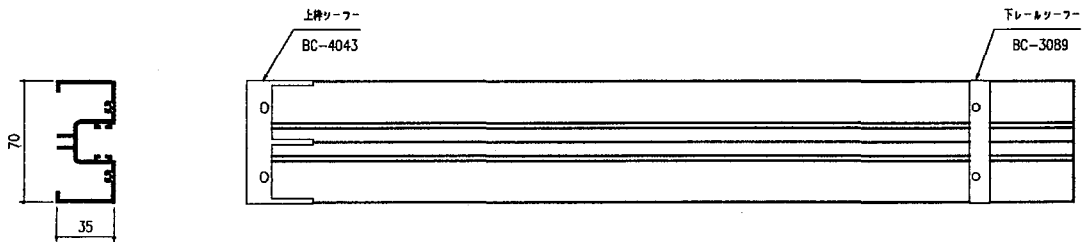
● 嵌殺し窓 シーラー取付図



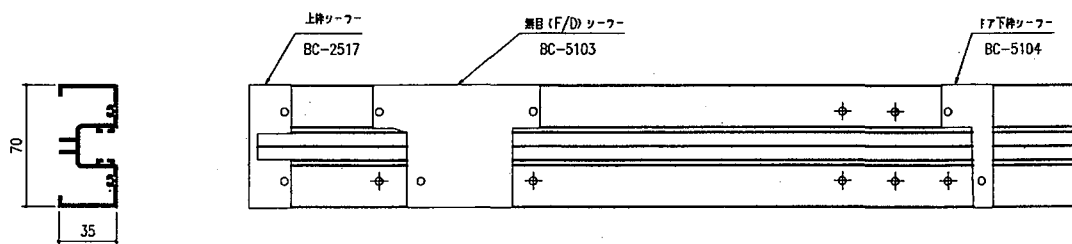
● 玄関引戸 シーラー取付図



● 玄関引戸 ランマ無上枠 シーラー取付図

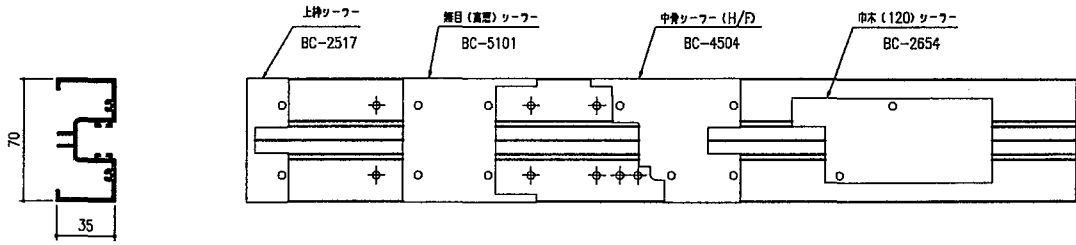


● ドア シーラー取付図

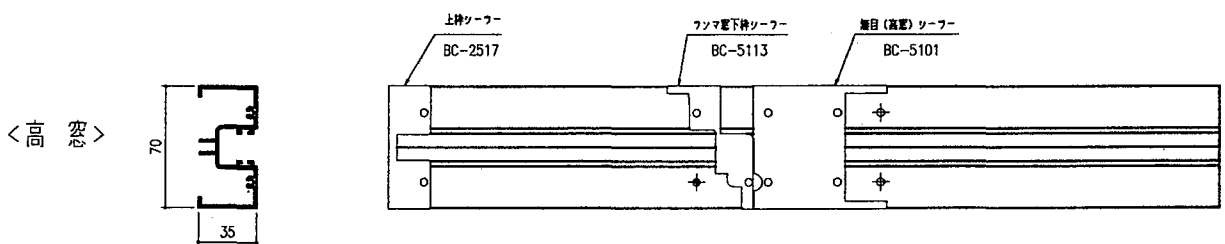
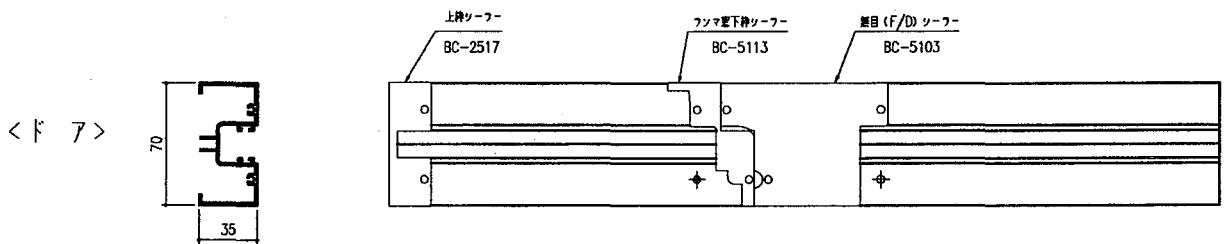
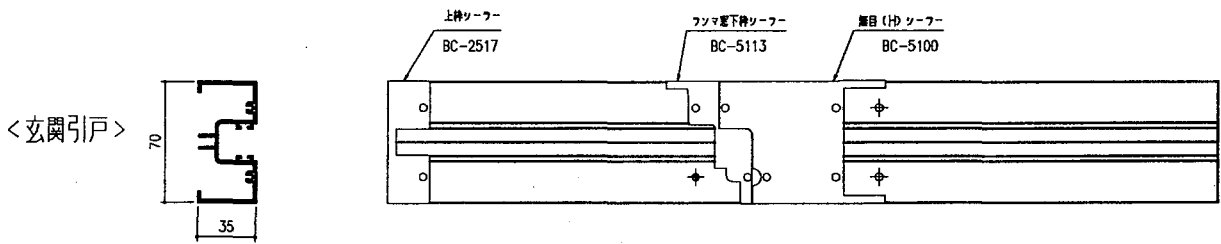
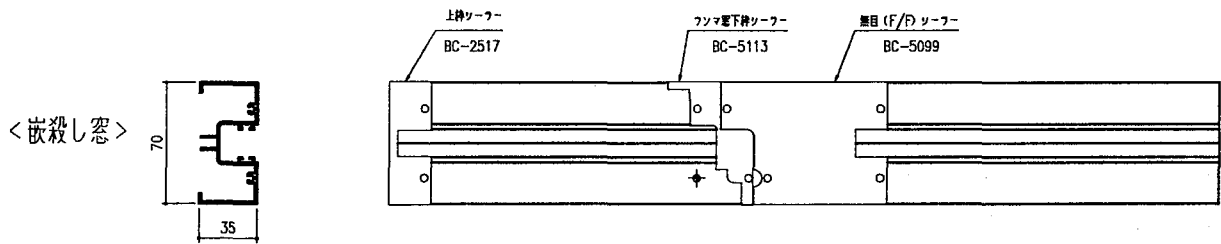


部品取付図

● 高窓 シーラー取付図

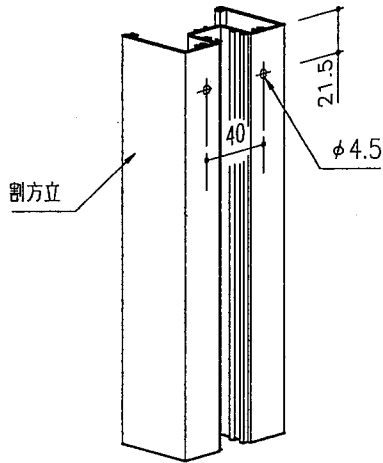


● ランマ窓 シーラー取付図



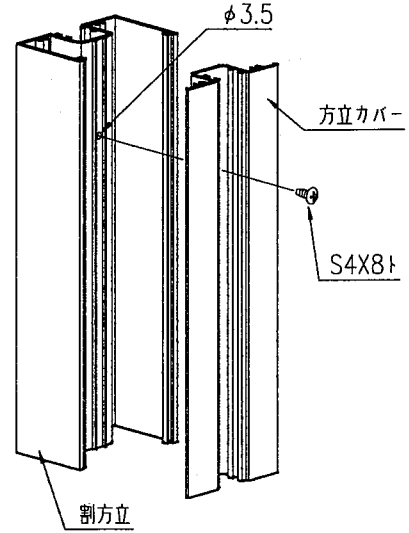
組立手順

■ 上部切詰め孔明け位置



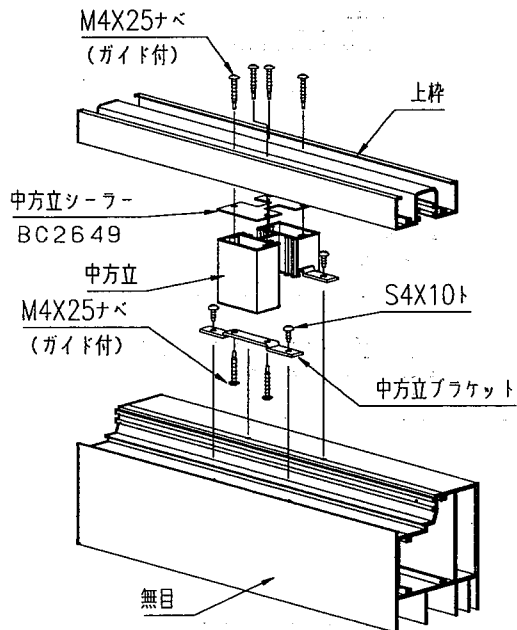
1. 縦枠を切詰める場合は縦材の上部を切断し、上図の様に加工してください。

■ 連窓割方立納まり図



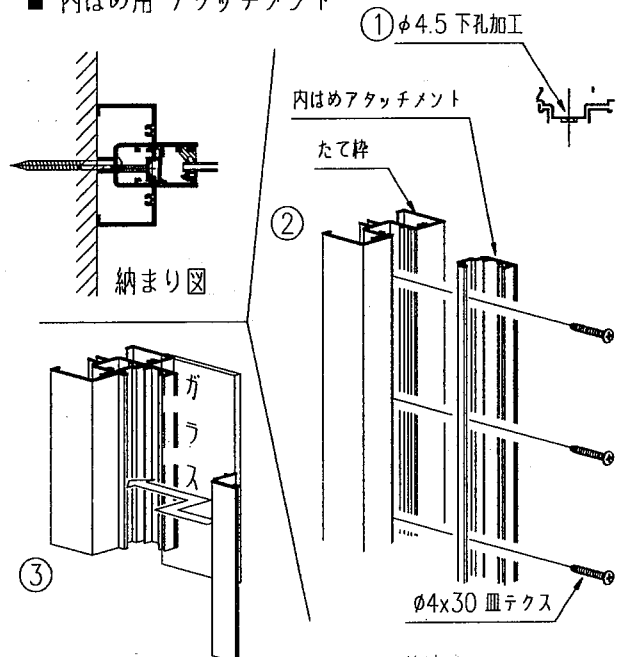
1. 方立を連窓する場合は方立カバー孔位置に合わせて、割方立に下孔(φ3.5)を明けてください。

■ ランマ吊方立



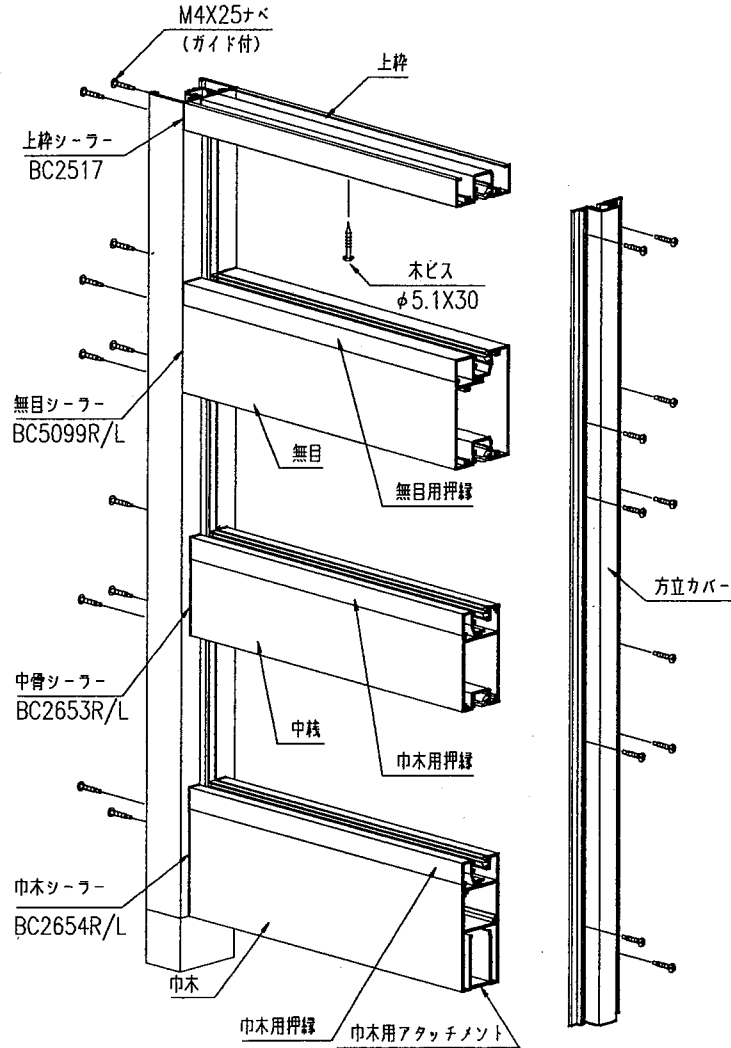
1. 中方立取付ブラケットを中方立にビス(S4X25ナベ)で取付けてください。
2. 中方立取付ブラケットと無目をビス(S4X10t)で組付けてください。

■ 内はめ用 アタッチメント



1. 内はめ用アタッチメントにφ4.5の下孔をあけてください。
2. たて枠と内はめ用アタッチメントを、φ4x30皿テクスで取付けて下さい。
3. ガラスを入れた後、押縁を取付け、後付けビード(別途)にてガラスを固定して下さい。

組立手順（嵌殺し窓）



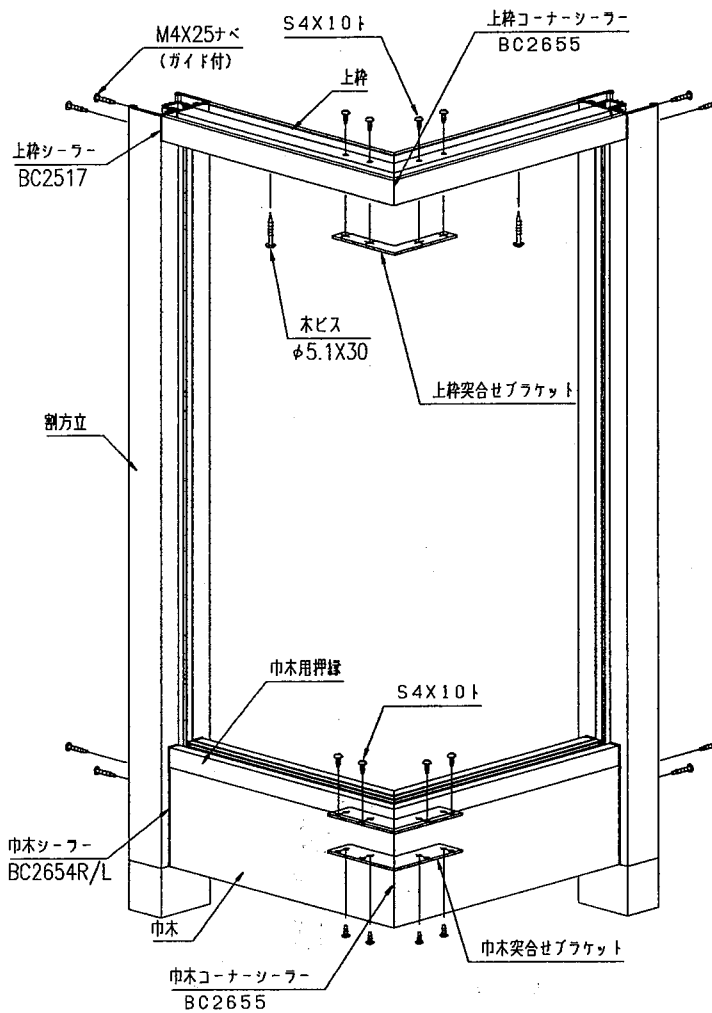
1. 先付ビードを室内側にセットしてください。
2. 建物側の枠材にピッチ450～500mm位にφ5.5の孔明けをします。
3. 縦枠に横材組立て孔に合わせてシーラーを貼付けます。

▲注意（縦枠には左右兼用のため複数の横材組付け孔が明けてありますので貼付ける時注意願います。）

4. 縦枠と横材をビス（S4X25ナベ）で組立てます。
5. 方立カバーをコーナー方立及び割方立にビス（S4X8ト）で固定します。
その際、方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けてください。
6. ガラスを外部から嵌め込んだのちセッティングブロックを端部から1/4の所に置き、押し縁を挿入し後付けビードを押込みます。

▲注意 ビードのコーナーは直角になるように、切り込みを入れ、継ぎ目は上部中央にくるようにしてください。

組立手順（ガラス突合せ）



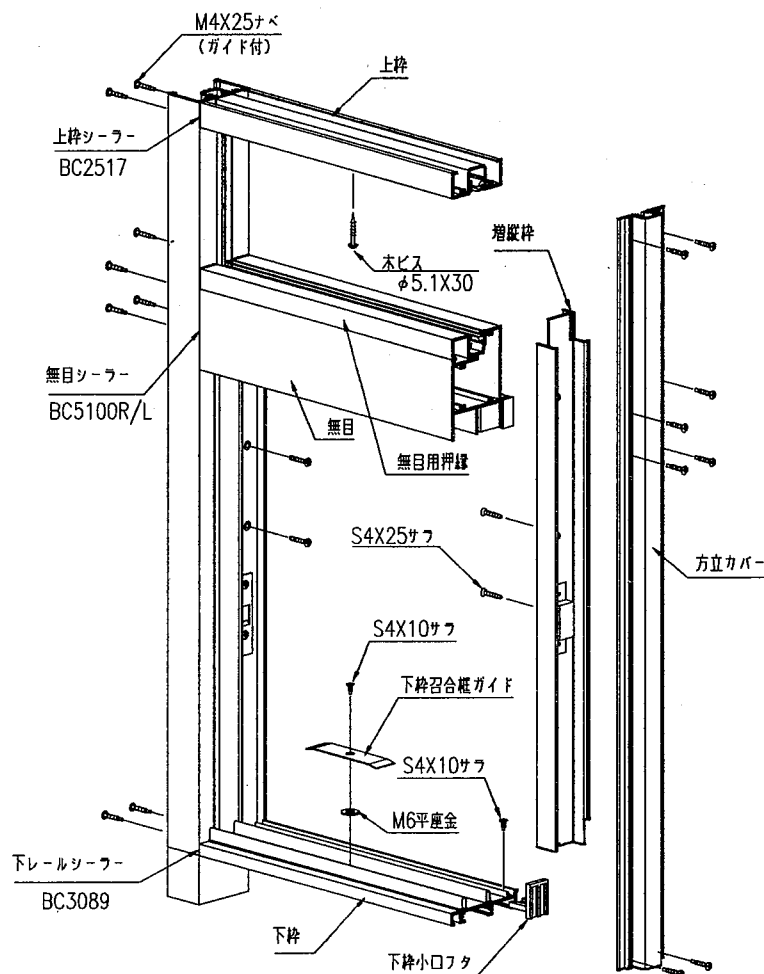
1. 先付ビードを室内側にセットしてください。
2. 建物側の枠材にピッチ450～500mm位にφ5.5の孔明けをします。
3. 縦枠に横材組立て孔に合わせてシーラーを貼付けます。
4. 上枠及び中木の突合せ部分にコーナーシーラーを貼付け、突合せ Bracket を加工位置に合わせてビス（S4X10）で固定してください。
5. 縦枠と横材をビス（S4X25ナベ）で組立てます。
6. 方立カバーをコーナー方立及び割方立にビス（S4X8ト）で固定します。
その際、方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けてください。
7. ガラスを外部から嵌め込んだのちセッティングブロックを端部から1/4の所に置き、押縁を挿入し後付けビードを押込みます。



- 注意**
- ビードのコーナーは直角になるように、切り込みを入れ、継ぎ目は上部中央にくるようにしてください。
 - 増巾木で納める場合は別売り部品を2セット拾い出してください。

組立手順（玄関引戸）

■ 枠材



1. 先付ビードを室内側にセットしてください。
2. 建物側の枠材にピッチ450~500mm位にφ5.5の孔明けをします。
3. 縦枠に横材組立て孔に合わせてシーラーを貼付けます。

△注意 (縦枠には左右兼用のため複数の横材組付け孔が明けてありますので貼付ける時注意願います。)

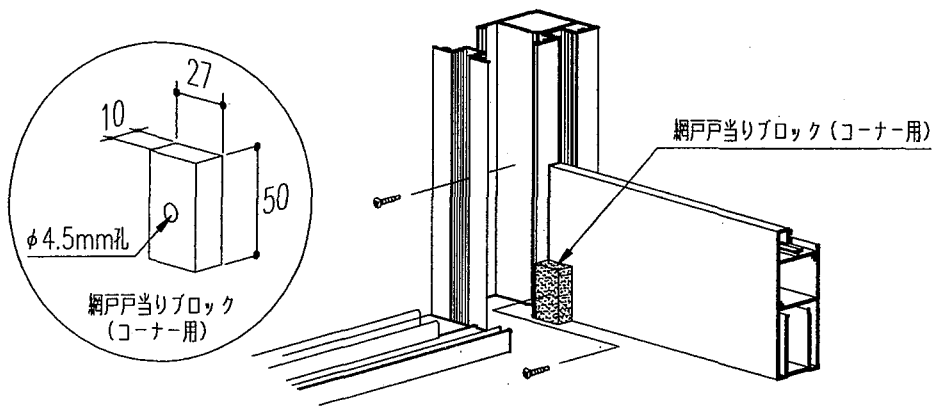
4. 縦枠と横材をビス(S4X25ナベ)で組立てます。
5. 網戸下枠小口フタをビス(S4X16ナベ)で取付けてください。
6. 方立カバーをコーナー方立及び割方立にビス(S4X8ト)で固定します。
その際、方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けてください。
7. 増縦枠(左右)を縦材に組込み増縦枠の孔位置にφ3.5の下孔を明け、ビス(S4X25サワ)で固定します。
8. 下枠召合せガイドを召合せ下端部にφ3.5の下孔を明けてビス(S4X10サワ)で取付けてください。

△注意

- 方立と無目及び下枠を組立てる場合、増縦枠が入りますので上下に広げてビス止めしてください。
- 増縦枠を上を上げ、無目に当ててビス止めしてください。

組立手順（玄関引戸）

● コーナー方立納まりの場合



網戸当りブロック（コーナー用）の中央に
 $\phi 4.5$ mmの下孔を明けてください。
 嵌殺し窓下枠に $\phi 3.5$ mmの下孔を明け、
 $\phi 4 \times 16$ 皿ビスで取付けてください。

■ 引戸下枠固定方法

● 2枚引戸

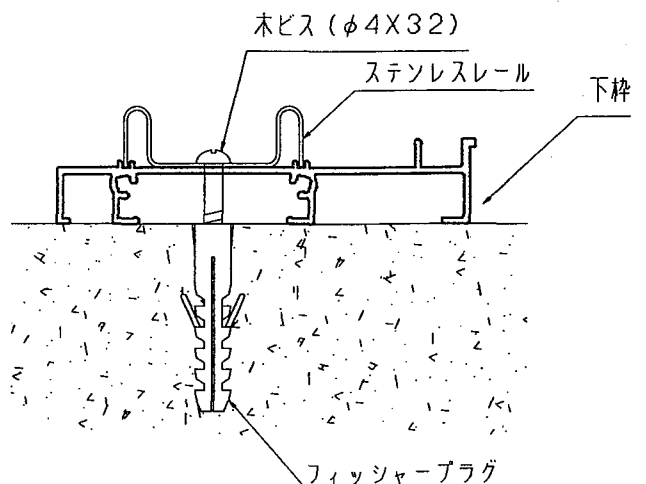
1. ステンレスレールを下枠から取り外してください。
2. 下枠に加工されている $\phi 8$ mmの位置から土間に6 mmのキリにてカールプラグ用孔を明けてください。
3. カールプラグを孔に差入れ、打ち込んでください。
4. ステンレスレールを180度回転させて、カールプラグ用孔が一致した所で木ビス（ $\phi 4 \times 32$ ）で固定してください。

● 下枠用アンカーを使用する場合

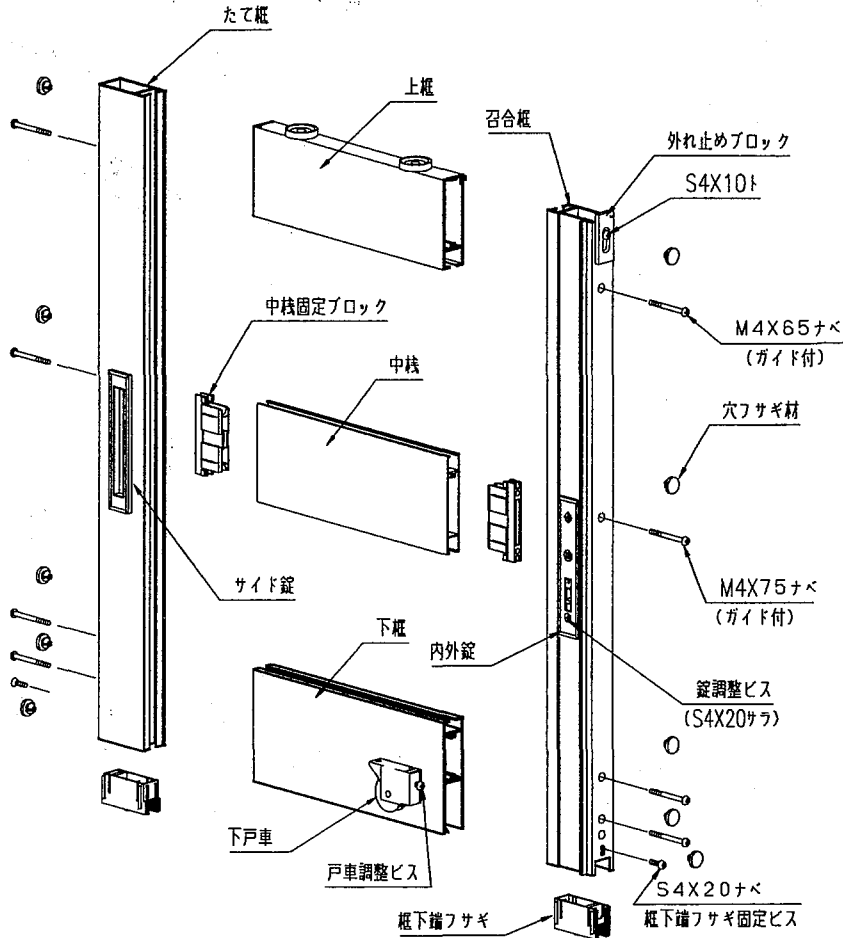
1. 下枠用ベースアンカー（別売）を下枠に差込み差筋（別途）と溶接又はモルタルで固定してください。

● 4枚引戸

1. 下枠に加工されている下孔 $\phi 3.5$ mmを8 mmに明けなおし、その位置に6 mmの孔を明け、カールプラグを打ち込んでください。
2. ステンレスレールを木ビス（ $\phi 4 \times 32$ ）で固定してください。



■ 障子材



1. ガラスにグレチャンを巻いてください。

注意 グレチャンコーナーは切込みを入れ直角になるように、継ぎ目は上部中央にくるようにしてください。

2. 中框と縦枠をビス止めし、グレチャンを巻いたガラスを嵌め込み、召合框と中框をビス止めしてください。

3. 上下框を嵌め込みビス止めしてください。

4. 框下端フサギをビス (S4X20ナベ) で取付けてください。

尚、突合框の下端フサギはビス (S4X10ナベ) で取付けます。

5. 障子を建て込めるように外れ止め部品を下方向に下げた状態で取付けビスを締めて仮止めしてください。

注意 内外締り錠を調整する場合、サイド錠と当たりますので最後にサイド錠を取付けてください。

●戸車調整

1. 戸車調整ビスを+ドライバーで回して調整します。

○右に回すと障子が上ります。

●障子外れ止め調整

1. 障子本体を枠に建て込んで、建付け調整・錠等の調整が終わりましたら、取付けビスをゆるめ上方向に上げて調整してください。

●内外締り錠調整

1. 内締り錠取付けビスをゆるめ外締り錠と合うように調整します。

○上下方向に各々3mm左右方向に各々。

1. 5mm調整が可能です。

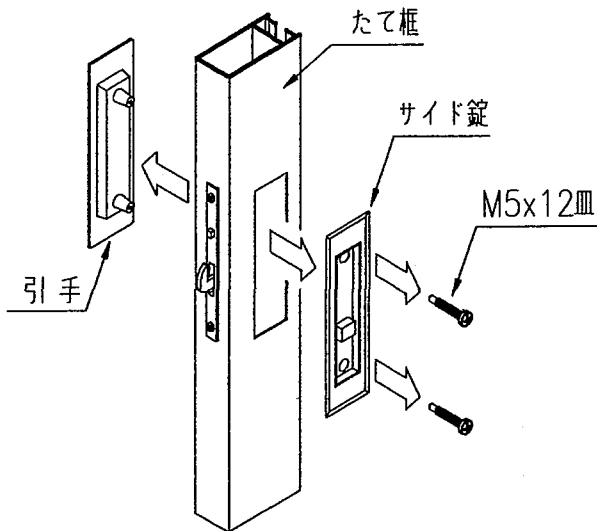
●框下端フサギ材調整

1. 戸車調整した分、下枠方向に下げてください。

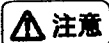
組立手順（バーハンドル）

■ バーハンドル仕様 共通部

（バーハンドルを使用した、全ての納まりに共通です。）



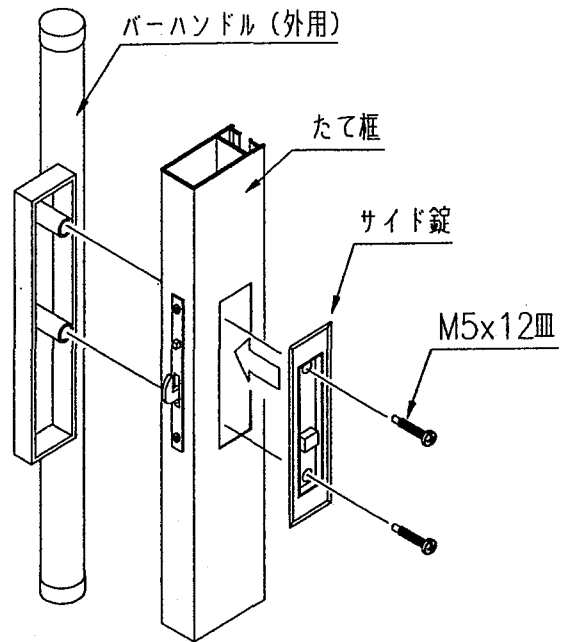
・たて框から、サイド錠・引手を外して下さい。



注意

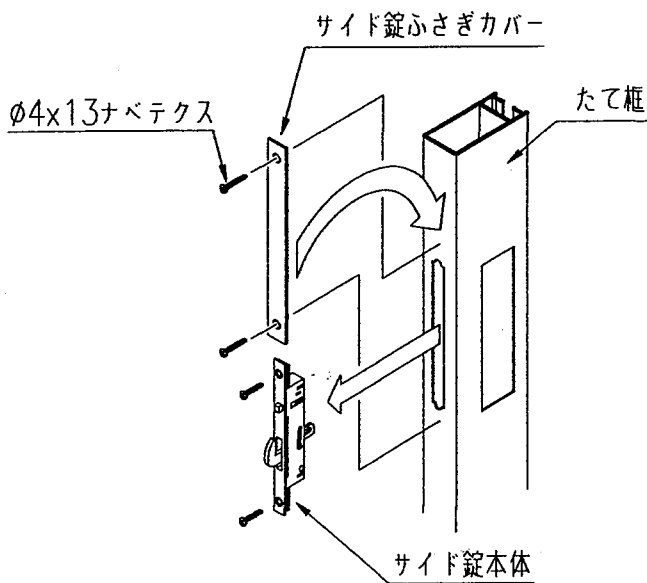
外したビス（M5x12皿）は、再度使用します。

■ 内側サイド錠+外側バーハンドル仕様

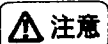


・バーハンドル（外用）と、サイド錠をM5x12皿で固定します。
（この時のビスは、最初に引手を固定してあったビスを利用します。）

- 内側バーハンドル+外側引手仕様 } 共通部
- 内外バーハンドル仕様



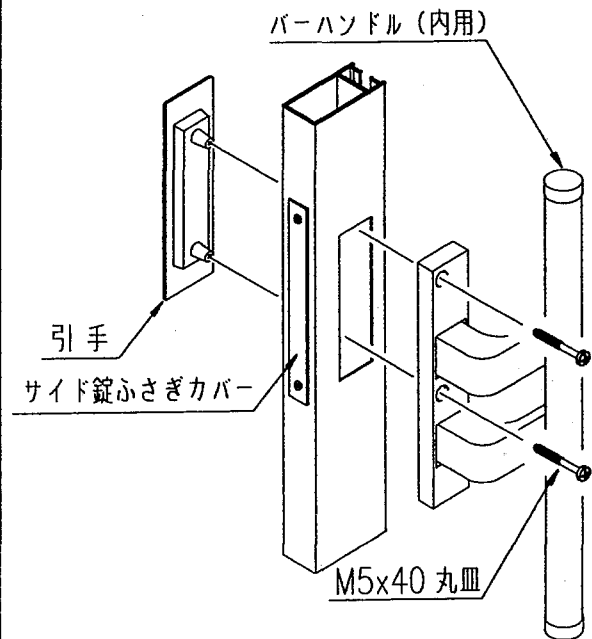
・サイド錠本体を外し、φ4x13ナベテクスで
サイド錠ふさぎカバーを取付けます。



注意

ふさぎカバーは、サイド錠本体が付いていたのと同じ位置には付きません。

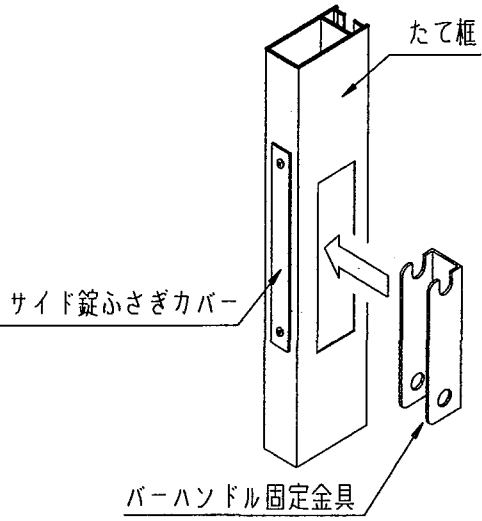
■ 内側バーハンドル+外側引手仕様



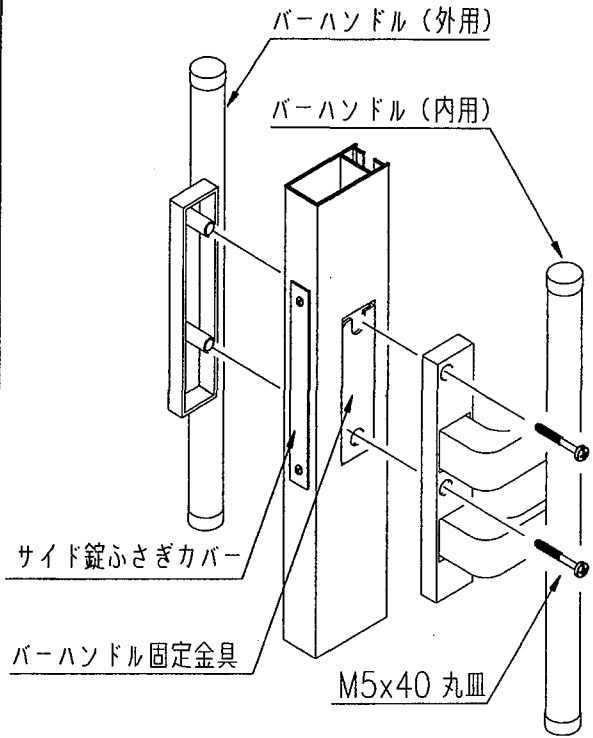
・セット部品内のM5x40丸皿ネジで、バーハンドル（内用）
と引手を固定して下さい。

組立手順 (バーハンドル)

■ 内外 バーハンドル仕様

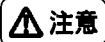


1. バーハンドル固定金具を、たて框に差し込みます。



2. セット部品内のM5x40 丸皿ネジで、バーハンドルを固定します。

(バーハンドル 拾い出し)



内観・外観で、R/Lが変わります。ご注意ください。

外観 右 ■ JSHB3R

(外)

外観 左 ■ JSHB3L

内観 左 ■ JSHB2L

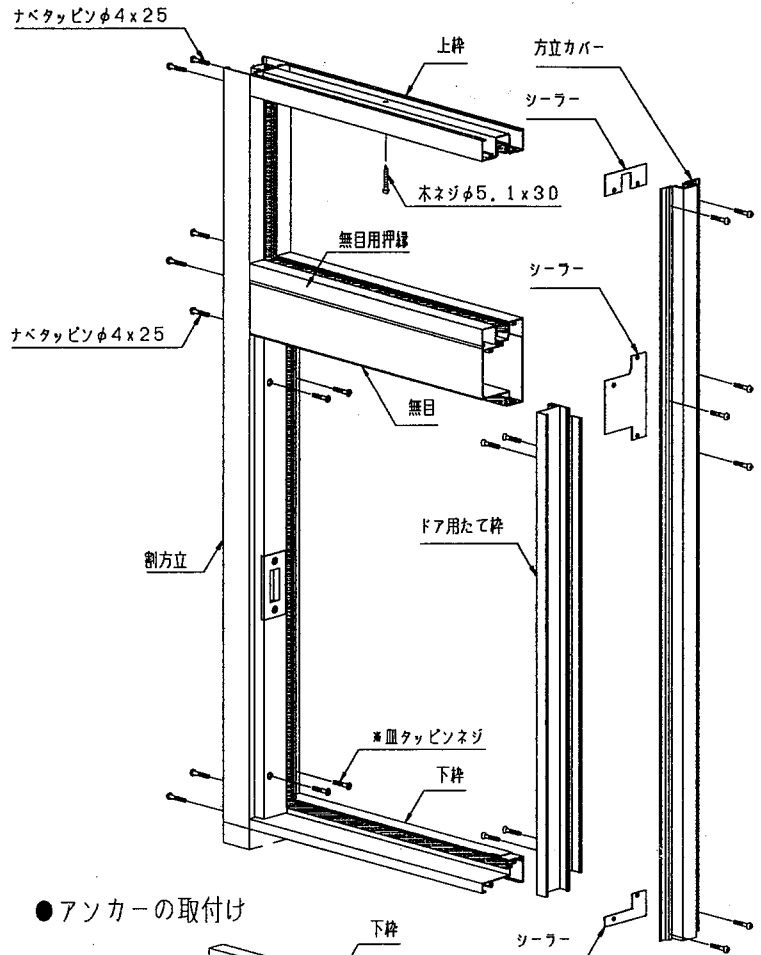
(内)

内観 右 ■ JSHB2R

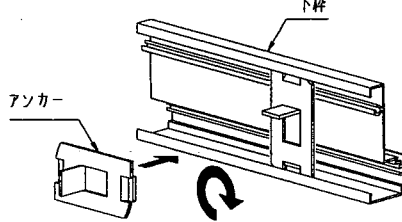
組立手順 (框ドア)

< 枠の組立 >

1. 先付ビードを室内側にセットしてください。
 2. 方立、カバーの上枠、無目、下枠用取付け孔にあわせてシーラーを貼り付けてください。
- 注意** 方立には複数の孔が明けていますので取付け時にまちがえないようにしてください。
3. 下枠にアンカーを下図のようにして嵌めてください。
 4. 方立、カバーと上枠、無目、下枠をナベタッピンφ4×25で取付けしてください。
 5. 方立カバーと割方立、コーナー方立をトラスタッピンφ4×8で取付けしてください。
(方立カバーの孔位置にあわせてφ3.5の下孔を明けてから取付けしてください。)
 6. ドア用たて枠を皿タッピンネジで取付けてください。
※一般ドア：皿タッピンφ4×25
 7. アンカー部分にモルタル詰めをしてください。



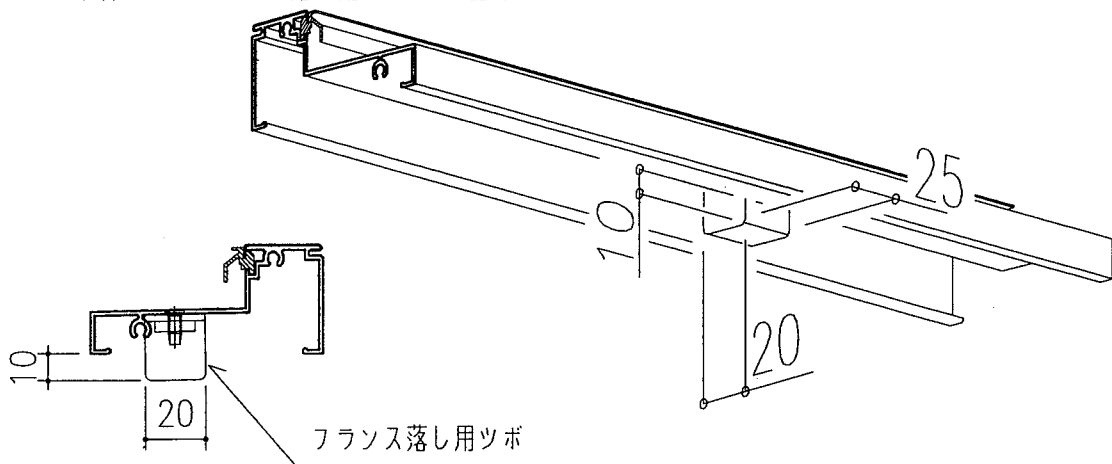
●アンカーの取付け



注意

※親子ドア下枠※

ドア下枠から、フランス落とし用ツボが下記寸法分出ます。



組立手順（框ドア）

■ 枠材

< 框ドアの組立 >

1. ガラスにグレチャンを巻いてください。

注意 グレチャンのコーナーは直角になるように、継ぎ目は上部中央にくるようにしてください。

2. 戸先框の端部キャップをはずしてください。

3. 左図の要領で組立てください。

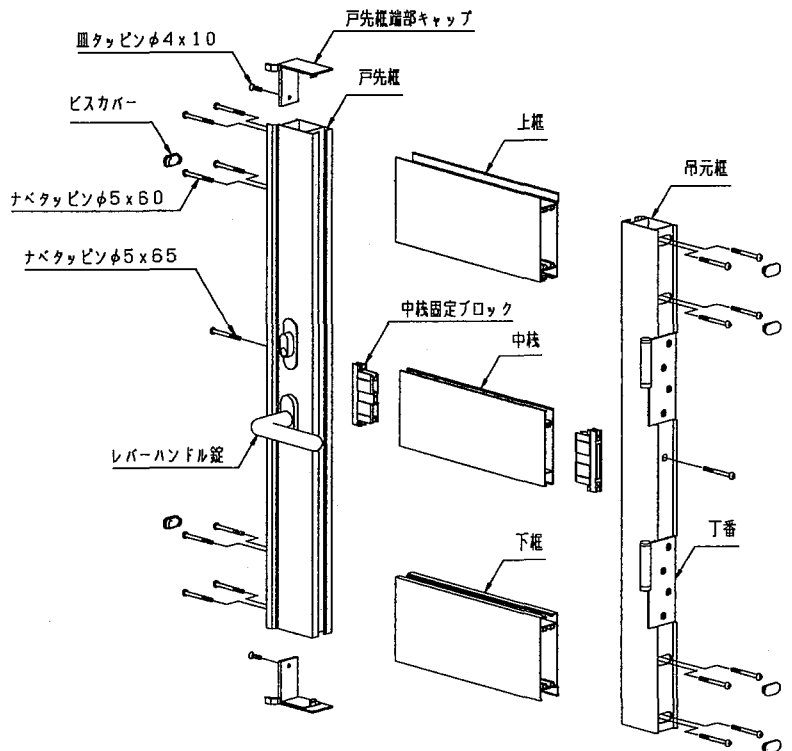
注意 戸先框は上下2mmずつ短くなっています。

4. ビスカバー、端部キャップを取付けてください。

5. レバーハンドル錠、丁番を取付けてください。取付け方法はレバーハンドル錠内のマニュアルをご覧ください。

注意 丁番には上用、下用の2種類があります。取付け時にまちがえないようにしてください。

※ グレチャンは玄関引戸用をご使用ください。



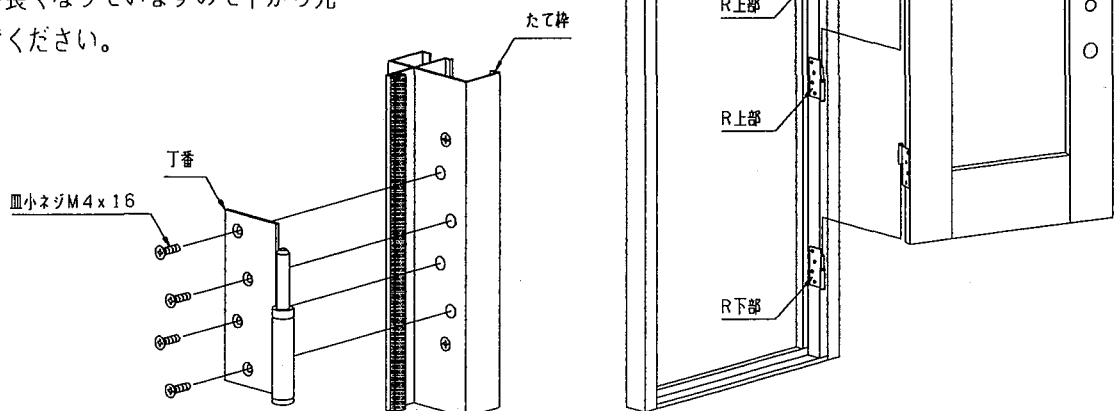
< 丁番の取付け（H: 22タイプ） >

1. 丁番を枠と障子に取付けます。

注意 丁番には上下用の2種類があります。取付け時には注意してください。

2. ドアをたて枠に90°以上開いた状態で吊り込んでください。

下丁番の軸が長くなっていますので下から先に吊り込んでください。

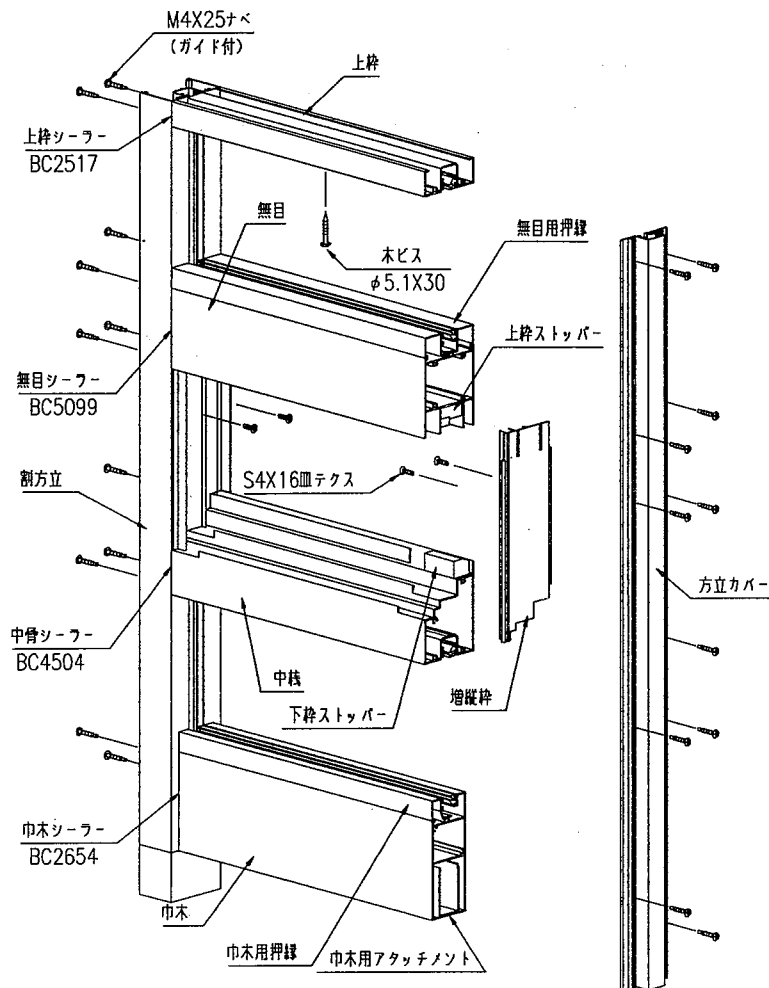


組立手順（高窓）

■ 障子材

テクト3に準じて組立ててください。

■ 枠材



1. 先付ビードを室内側にセットしてください。
2. 建物側の枠材にピッチ450~500mm位にφ5.5の孔明けをします。
3. 縦枠に横材組立て孔に合わせてシーラーを貼付けます。

（縦枠には左右兼用のため複数の横材組付け孔が明けてありますので貼付ける時注意願います。）

4. 縦枠と横材をビス（S4X25ナベ）で組立てます。
5. 方立カバーをコーナー方立及び割方立にビス（S4X8ト）で固定します。
その際、方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けてください。
6. 増縦枠（左右）を縦材に組み込み増縦枠の孔位置にφ3.5の下孔を明け、ビス（S4X25サラ）で固定します。
7. 増縦枠を取付けた後、上枠・下枠ストッパーを切り欠きに合わせて嵌め込んでください。

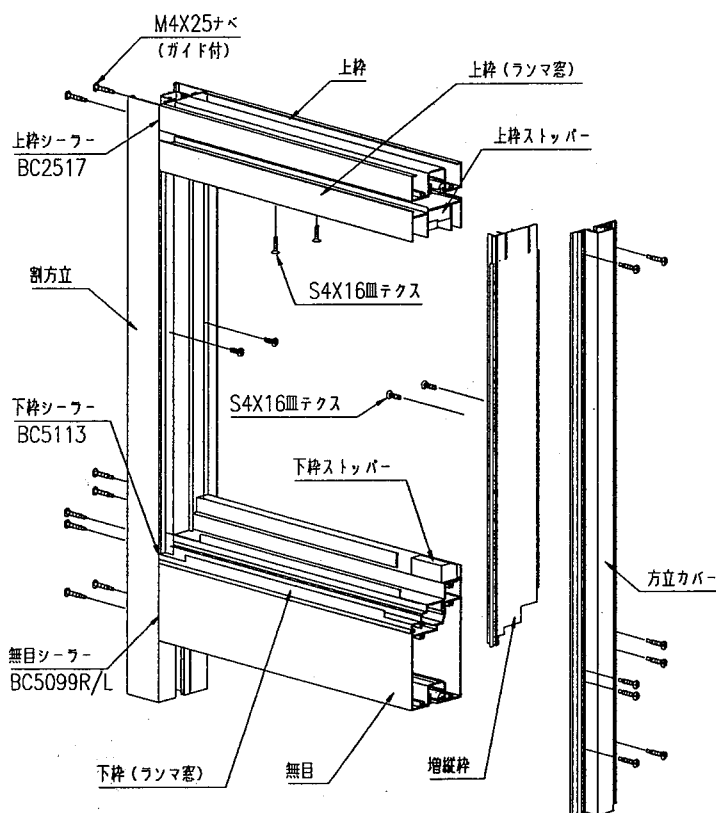
- 注意**
- 方立と無目及び下枠を組立てる場合、増縦枠が入りますので上下に広げてビス止めしてください。
 - 増縦枠を上へ上げ、無目に当ててビス止めしてください。

組立手順（ランマ窓）

■ 障子材

テクト3に準じて組立ててください。

■ 枠材



1. 縦枠に下枠組立て用孔明けをしてください。
2. 先付ビードを室内側にセットしてください。
3. 縦枠に横材組立て孔に合わせてシーラーを貼付けます。

注意 (縦枠には左右兼用のため複数の横材組付け孔が明けてありますので貼付ける時注意願います。)

4. 縦枠と横材をビス (S4X25ナベ) で組立えます。
5. 方立カバーをコーナー方立及び割方立にビス (S4X8ト) で固定します。
その際、方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けてください。
6. 上枠を躯体に取付けます。その際上枠にφ5.5のバカ孔を明け木ビスで固定します。
7. ランマ上枠を嵌殺し上枠にテクスビス (S4X16サラ) で取付けます。
8. 増縦枠 (左右) を縦材に組込み増縦枠の孔位置にφ3.5の下孔を明け、テクスビス (S4X25サラ) で固定します。
9. 増縦枠を取付けた後、上枠・下枠ストッパーを切り欠きに合わせて嵌め込んでください。

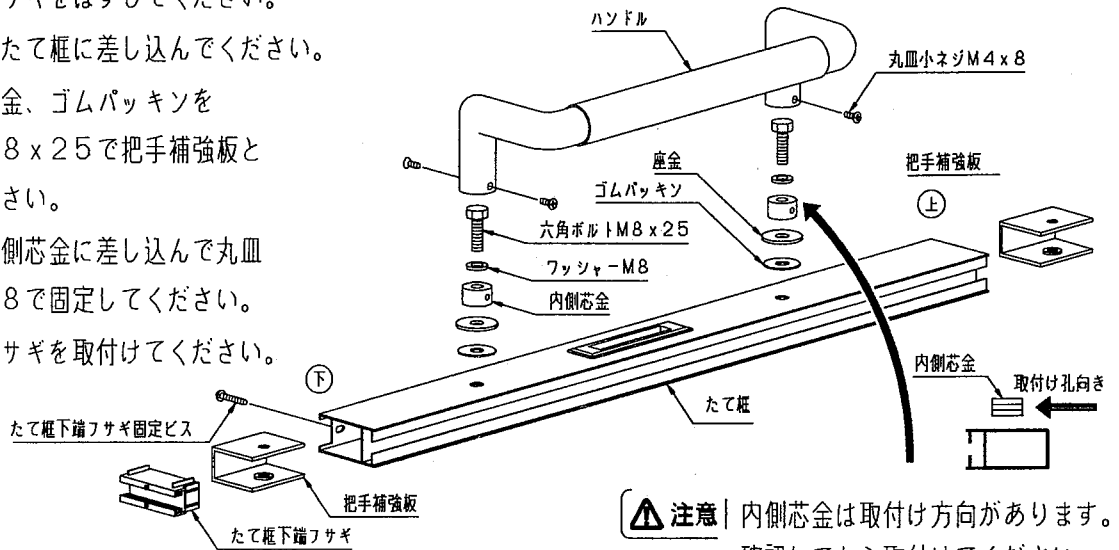
注意

- 方立と無目及び下枠を組立てる場合、増縦枠が入りますので上下に広げてビス止めしてください。
- 増縦枠を上へ上げ、無目に当ててビス止めしてください。

組立手順 (大型把手)

■ 把手の取付け

1. たて枠下端フサギをはずしてください。
2. 把手補強板をたて枠に差し込んでください。
3. 内側芯金、座金、ゴムパッキンを六角ボルトM8×25で把手補強板と固定してください。
4. ハンドルを内側芯金に差し込んで丸皿小ネジM4×8で固定してください。
5. たて枠下端フサギを取付けてください。

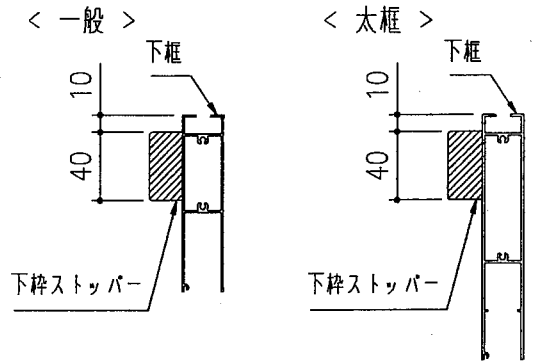


注意 | 内側芯金は取付け方向があります。確認してから取付けてください。

■ 下枠ストッパーの取付け

把手位置	2P	4P
外観右		
外観左		
外観両方		
内外		
内障子外観右		
内障子内外		

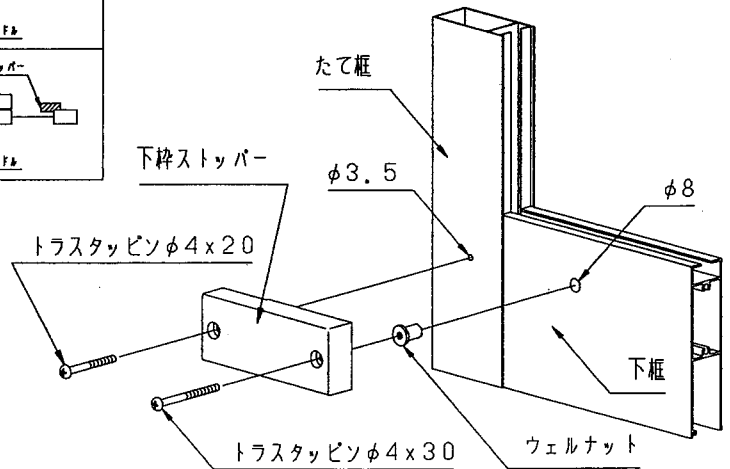
■ 下枠ストッパーの取付け位置 (縦方向)



1. 下枠ストッパー取付け位置に下孔を明けてください。
たて枠側 : $\phi 3.5$ 下枠側 : $\phi 8$
2. 下枠に明けた $\phi 8$ の下孔にウェルナットを嵌めてください。
3. 下枠ストッパーを取付けビスで固定してください。

注意 下枠ストッパーの取付けは必ず手廻しドライバーで行なってください。

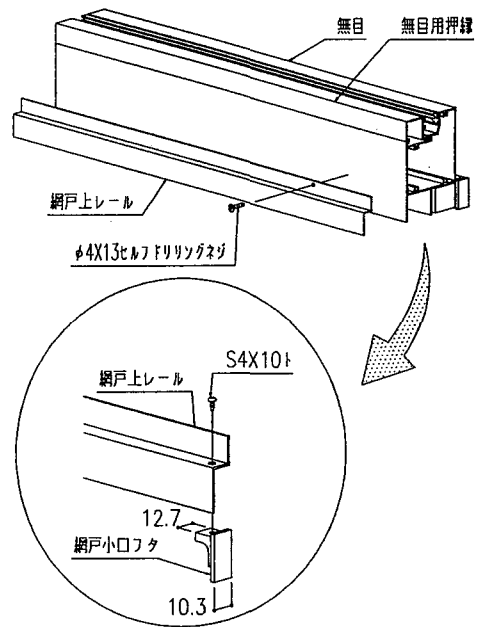
注意 下枠ストッパーの取付けビスは下記の通りに行なってください。
たて枠側 : トラスタッピン $\phi 4 \times 20$
下枠側 : トラスタッピン $\phi 4 \times 30$



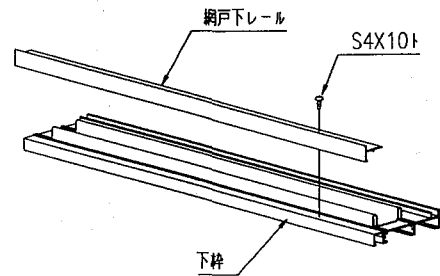
組立手順（玄関引戸）

■ 外付網戸レールの組立

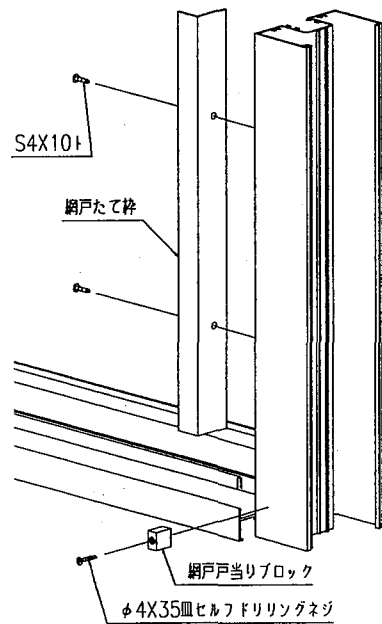
1. 上下網戸レールを枠内々寸法-1mmで切断し、取付孔（φ4.5）を明けてください。
2. 網戸レール小口フタを網戸上レールにビス（S4X10）で取付けてください。
3. 無目に網戸上レールをφ4X13セルフドリリングネジで取付けてください。
（形材にVノッチが付いています。）



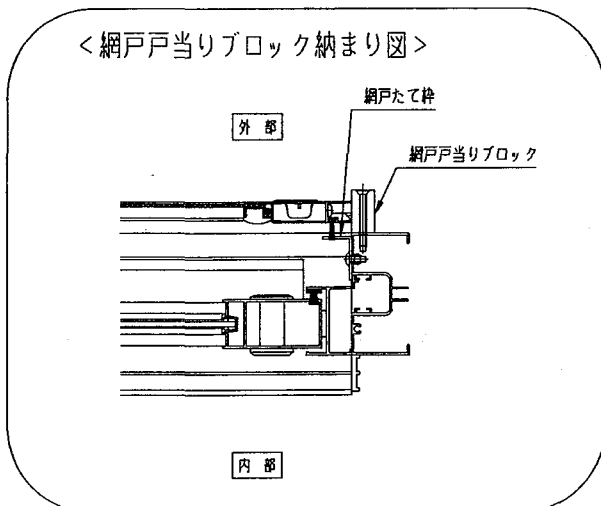
4. 下枠に網戸下レールをビス（S4X10）で取付けてください。
（形材にVノッチが付いています。）



5. 横材の中にセットされている網戸たて枠を室外側に取付けてください。
6. たて枠左右に網戸戸当りブロックをφ4X35皿セルフドリリングネジで取付けてください。



<網戸戸当りブロック納まり図>



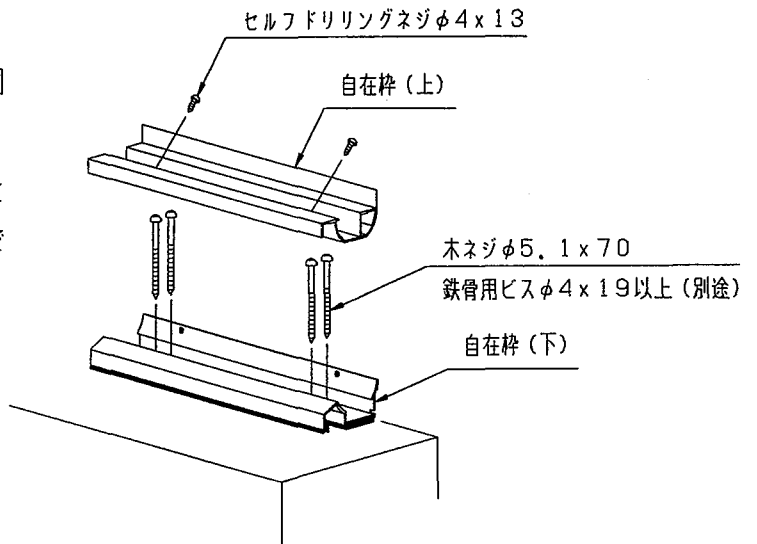
組立手順 (テラス囲い)

■ 自在枠の組立

1. 自在枠 (下) を躯体に木ネジ (鉄骨用ビス) で固定してください。
2. 自在枠 (上) を平行になるように自在枠 (下) に嵌め合せて、セルフドリリングネジ $\phi 4 \times 13$ で固定してください。

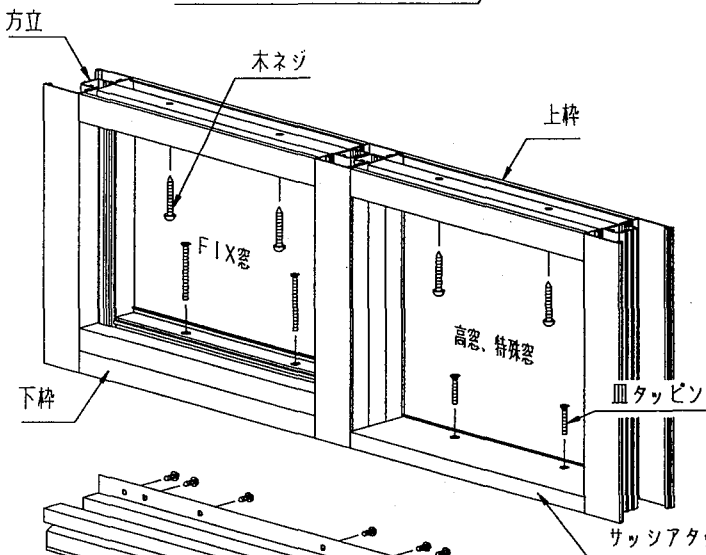
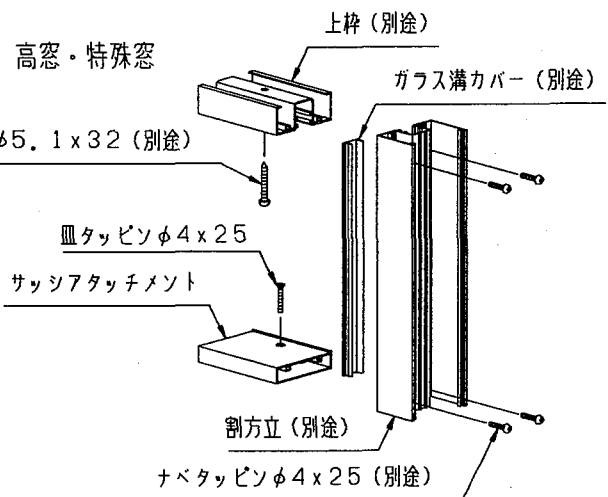
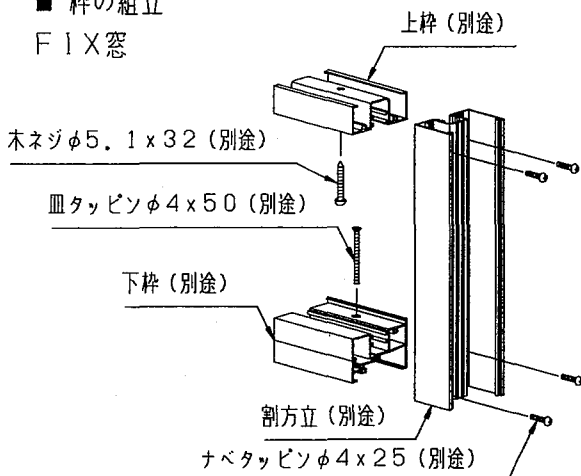
注意 木ネジ・鉄骨用ビスを固定した後ネジ頭の周辺を入念にシーリングしてください。

注意 自在枠 (上) は必ず水平になるようにしてください。



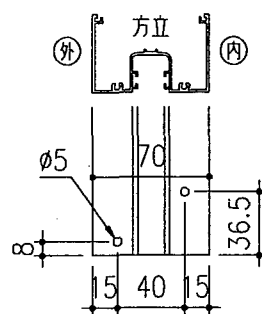
■ 枠の組立

FIX窓

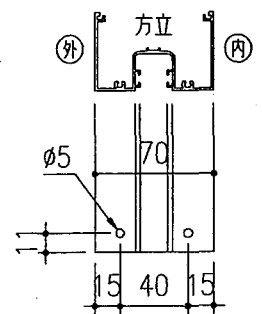


・下枠、サッシアタッチメント取付け孔位置

FIX窓の場合



高窓・特殊窓の場合



注意 部材の接合部には防水のためのシーリングをしてください。

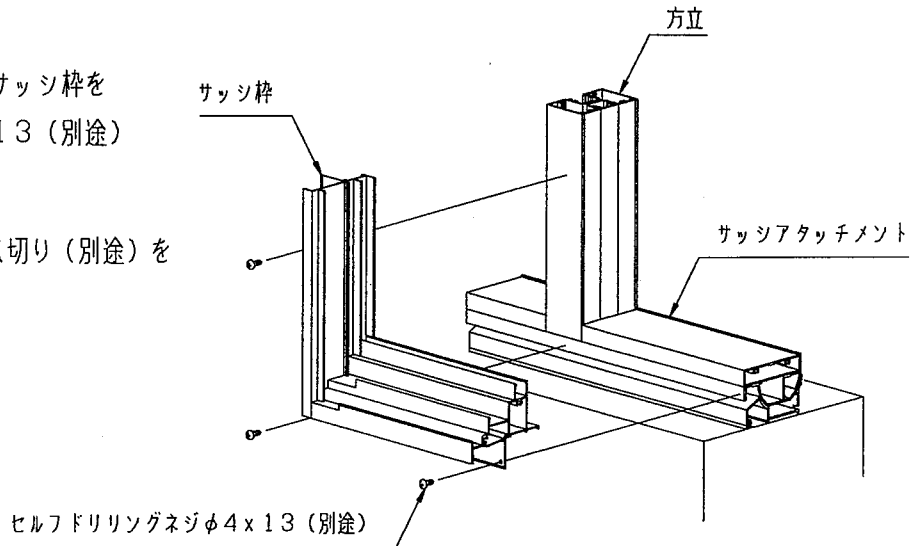
セルフドリリングネジ $\phi 4 \times 13$ (別途)

組立手順（テラス囲い）

■ サッシ枠の取付け

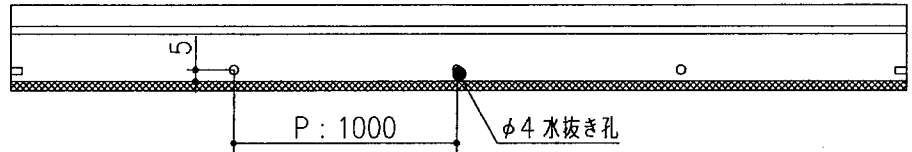
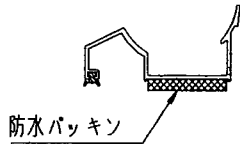
1. 自在枠、方立で組んだ開口にサッシ枠をセルフドリリングネジ $\phi 4 \times 13$ （別途）で固定してください。

注意 - 勾配の場合には必ず水切り（別途）を取付けてください。



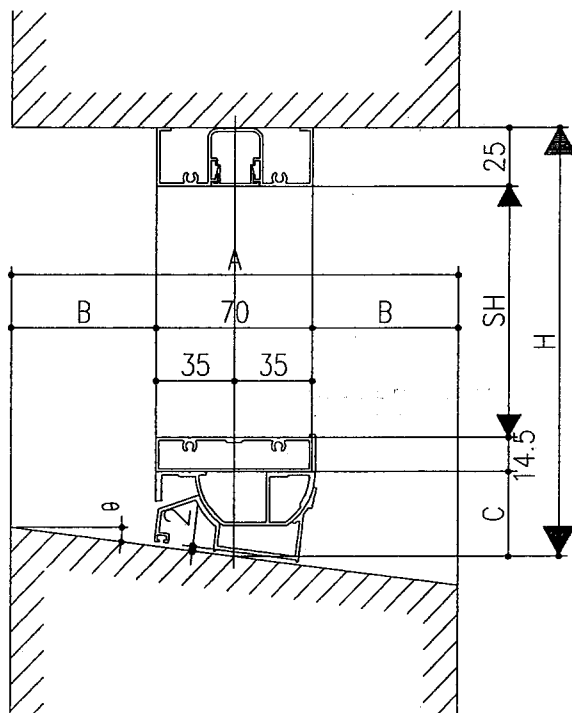
● 自在枠（下）の加工

1. 囲い枠の取付け後、自在枠（下）の内側に水抜き孔を明けてください。

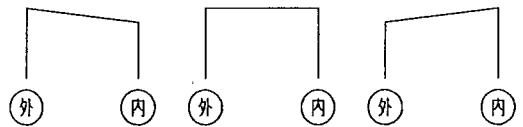


■ 角度詳細図

注意 自在枠の調整角度は $+7^\circ \sim -7^\circ$ です。



+ 勾配 0 勾配 - 勾配



θ	C
$+7^\circ$	36.1
$+6^\circ$	36.2
$+5^\circ$	36.3
$+4^\circ$	36.4
$+3^\circ$	36.6
$+2^\circ$	36.7
$+1^\circ$	36.8
$\pm 0^\circ$	37.0
$+1^\circ$	37.2
$+2^\circ$	37.4
$+3^\circ$	37.6
$+4^\circ$	37.8
$+5^\circ$	38.0
$+6^\circ$	38.2
$+7^\circ$	38.4